

文部科学省 いじめ対策・不登校支援等推進事業 いじめ・不登校等の未然防止等に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究

教員に対する福祉に関する研修 講師講習



趣旨・背景

本連盟では、文部科学省 いじめ対策・不登校支援等推進事業 いじめ・不登校等の未然防止等に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究を受託し、全国の小中学校・高校等の教育相談を分掌する学校教師・教育相談コーディネーターを対象に、スクールソーシャルワークに関する基礎的知識、連携の仕方、校内での定着等に関する研修プログラムの開発に取り組んでいます。

この研修は、**2025年度の試行研修を経て、2026年度からは、実際に各地の都道府県・政令市教育委員会が主催となり、本研修が開催される予定です。**

本連盟といたしまして、スクールソーシャルワークの推進を図る立場から、昨年度からの調査研究の成果を活かし、次年度以降の研修の実施に協力していきたいと考えております。つきまして、**「開発したプログラムを教えることのできる講師」の「確保」と「質担保」の観点から、2025年度の研究事業の一環として、「講師講習」を実施すること**といたしました。

本年度は、**研究事業の一環として実施をするため、参加費は【無料】**とさせていただきます。趣旨、条件をご確認の上、奮ってご参加いただき、スクールソーシャルワークの発展及びスクールソーシャルワーカーの更なる配置・活躍にご協力をお願い申し上げます。

(裏面もご確認ください)



日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

日程：2025年
11月30日（日）

時間：
9時00分～

12時30分

方法：Zoomによる
オンライン開催

参加費

無料 ※要条件あり

申込 (web申込：マナブル)



タイム スケジュール・内容

9 : 00-9 : 15	オリエンテーション、事業の位置付け等について 講師：山野 則子（大阪公立大学：本事業委員長・試行 研修講師：本連盟副会長） 説明：事務局
9 : 15-10 : 00	研修受講の対象となる「学校」・「教員」とは？ ～その特性、人員配置、専門性～ （仮題） 講師：川上 泰彦（兵庫教育大学：本事業委員）
10 : 00-11 : 00	スクールソーシャルワーク：ミクロ・メゾレベルの教授法 講師：山野 則子（同上）※演習形式の実施も含む
11 : 00-11 : 15	休 憩
11 : 15-12 : 15	スクールソーシャルワーク：マクロレベルの教授法（展開の計 画を含む） 講師：山野 則子（同上）※演習形式の実施も含む
12 : 15-12 : 30	まとめ、全体の質疑応答、事務連絡

演習サポート：奥村賢一（福岡県立大学：本事業委員・試行研修講師）
比嘉昌哉（沖縄国際大学：本事業委員・試行研修講師）

参加条件

★全国で展開される「教員に対する福祉に関する研修」の講師候補になることを承諾すること

★申込時に登録した情報提供（所属・連絡先）を、都道府県ならびに政令市教育委員会研修担当者に提供することを承諾すること

★2026年度以降、講師を担当する場合は、本連盟との連絡、連携を保つこと

★講師担当の際は、2025年度開発したテキストを活用すること

※実際の研修開催の際、講師の選定は、実施主体の教育委員会が決定します。本受講を持って、必ずしも講師になるということではありません。

申込の注意事項：

ソ教連の研修システム：
マナブルに登録する必要
があります

お問い合わせ：

日本ソーシャルワーク
教育学校連盟

電話 03-5495-
7242

お問い合わせフォーム

